

直接塗装で再生と防錆の二役

用途 鉄・亜鉛メッキ面の傷補修
亜鉛処理鉄板・橋梁・建築・車両・パイプなどの傷補修
亜鉛メッキ・一般鋼材の溶接・溶断跡や端面の錆止め補修

亜鉛メッキ補修用塗料

イサムシルバージンク



下塗り・上塗り不要

**補修面に直接塗るだけで
強力な防錆力を発揮
亜鉛メッキに近いシルバー色に
補修箇所が目立ちません**



NET.420ml 第1石油類193ml
合成樹脂エナメル塗料
危険等級II

引火性あり	警告	有毒性あり
	1.可燃性ガスが入っており、極めて引火しやすい。 2.有機溶剤中毒の恐れがある。 3.罐内に有毒な物質を含有している。	

COLOR

シルバー

7928

印刷の色につき実際の色目とは多少異なります

■使用方法、使用上の注意事項および保管・廃棄方法は裏面を参照してください■

ISAMU PAINT

亜鉛メッキ補修用塗料

イサムシルバーズンク

特長

適応環境

塗装した塗膜は、暴露されるにしがたい、電気化学反応によって腐蝕生成物が塗膜に沈着して付着力を強めるため、腐蝕の激しい海岸地帯や工業地帯でもすぐれた防錆力を発揮します。

防錆効果

一般のペイントは、鉄表面から空気と水を遮断して錆を防ぎますが、塗膜の劣化が速く、耐久性に欠けます。イサムシルバーズンクは乾燥塗膜中に金属亜鉛末82%が含まれているため、亜鉛末の電気化学反応とシルバー顔料による遮断効果が高く、防錆効果が期待できます。

補修効果

下塗りや上塗りは不要。シルバー色に仕上がり、亜鉛メッキの補修面に直接塗装できます。暴露とともに色が変わるため、一体感が保てます。

耐熱限度

イサムシルバーズンクは耐熱塗料ではありませんが、最高100℃、常時80℃までは耐えられます。ただし、50℃を超える熱い湯に浸かるような部分では亜鉛の溶出が激しくなるため、お勧めできません。

標準塗り面積

0.4~0.6m²
(2回塗り)

使用上の注意

1. 天気の良い湿度の低い日を選んで塗ってください。
2. 塗る面のゴミ、油分、さび、かび、ワックスなどを取ってください。
3. 使用するときは、(攪拌球の音がしてから約30秒間)容器を振り動かして混ぜ、使用時も時々振り動かしてください。
4. 容器を逆さにした状態では吹きつけはできません。
5. 塗料を吹きつけるとき、塗る面と噴出口との間は、20~30cmの間隔をとってください。
6. 目立たない部分で試し塗りをし、色・噴出状態・乾燥性、下地への影響、付着性などをよく調べて異常がないか確かめてから塗ってください。
7. 一度に厚塗りをしないで、塗る面と平行に移動しながら、やや薄めにまんべんなく2~3回くらい塗り重ねてください。
8. 使用後は、噴出口が詰まらないよう容器を逆さにして2秒くらい空吹きし、噴出口をよく拭いてからふたをしてください。
9. 塗り面積・乾燥時間は、色・素材・塗り方・気象条件の違いによって、増減する場合があります。

乾燥時間

指触乾燥30~60分
(気温20℃・湿度65%)

救急処置

- 皮膚に付着した場合には、多量の水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化があるときは医師の診察を受けてください。
- 目に入った場合には、直ちに多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 蒸気・ガスなどを吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けてください。

※ 火災時には炭酸ガス、泡または粉末消火器を用いてください。

※ 表示の用途以外には使用しないでください。

取扱い上の注意

- 吸入すると中毒その他の健康障害を起こす恐れがありますから、取扱いには下記の注意事項を守ってください。
1. 火気のあるところでは塗らないでください。
 2. 取扱い作業場所には局所排気装置を設け、塗装中、乾燥中ともに換気をよくし、蒸気を吸い込まないようにしてください。
 3. ゼンソクやアレルギー症状、かぶれなど起こしやすい体質の人は、この塗料を使わないでください。
 4. スプレーミストを吸い込まないようにしてください。
 5. 取扱い中は、できるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じた有機ガス用防毒マスクまたは送気マスク、保護手袋、保護メガネなどを着用してください。
 6. 取扱い後は、手洗い、うがいおよび鼻孔洗浄を充分におこない、作業衣など付着した場合は、その汚れをよく落としてください。
 7. ふたをして、子供の手の届かない一定のところを定めて保管してください。

保管上・廃棄上の注意

1. 残った洗浄剤はふたをし、直射日光の当たるところ、自動車内、暖房器具や花火などが散る周辺には、破裂する危険があるので置かないでください。
2. 缶の錆による破裂を防ぐため、水回りや湿度の高い所に置かないでください。
3. やむを得ず残った塗料を捨てるときは、火気のない屋外で、新聞紙などに塗り広げ、完全に乾かしてから、一般ゴミとして処分してください。
4. 容器を捨てる際には、中の塗料とガスを十分に(噴射音が消えるまで)抜き、他のゴミとはっきり区別して処分してください。



イサム塗料株式会社



イサムエアースール工業株式会社

〒553-0002 大阪市福島区鷺洲2丁目15番24号 ☎06(6458)8877

事業部 千532-0035 大阪市淀川区三津屋南3-9-8 ☎06(6308)1365 FAX06(6308)5581
東京支店 千174-0042 東京都板橋区東坂下1-16-7 ☎03(3969)2131 FAX03(3969)2137
名古屋支店 千452-0824 名古屋市西区こも原町82 ☎052(502)0136 FAX052(502)0174
大阪支店 千532-0035 大阪市淀川区三津屋南3-9-8 ☎06(6308)1363 FAX06(6308)1348
福岡支店 千811-2304 福岡県糟屋郡粕屋町大字中草字高野2777-1 ☎092(611)1360 FAX092(623)8430
札幌出張所 千004-0053 札幌市厚別区厚別中央3条3-11-13 ☎011(893)8035 FAX011(893)8036
仙台出張所 千981-3201 仙台市泉区泉ヶ丘1-20-23 ☎022(375)1367 FAX022(375)2812
横浜出張所 千232-0016 横浜市長谷区宮元町3-51 ☎045(715)7462 FAX045(715)7463
広島出張所 千733-0012 広島市西区中広町1-5-17-2 ☎082(291)1234 FAX082(295)6138
滋賀工場 千525-0055 滋賀県草津市野路町2301 ☎077(562)1360 FAX077(562)1364